

HOT NEWS OF JAPANESE NUTRITION/HEALTH INDUSTRY

MARCH 16-31, 2005

3月に入り、夏の商戦に向けた新商品の発売・発表が多数見られる。肌の露出度が高くなる夏へ向けてダイエットを始める女性をターゲットとしたダイエット商品、特に脂肪燃焼系商材が注目される。もう一つの注目カテゴリーは、紫外線対策の「美白」である。ファンケルの「内から外から」スキンケアというコンセプトが定着し、化粧品とサプリメントでシリーズ商品を揃える企業が増えている。

一方で、過熱した効果効能の報道に対して、厚生労働省はいち早く対応をしている。先月「あるある大事典」で紹介されて以来話題となっている「ダイエット」商材のL-リボ酸の減量効果について、国立健康・栄養研究所は警鐘を鳴らした。

NEW PRODUCTS

資生堂ビューティーフーズ 寝ている間もダイエット「美系ダイエット燃料」を発売

資生堂ビューティーフーズは、3月1日より、ダイエットドリンク及びタブレット「美系ダイエット燃料」を全国のドラッグストア、大手スーパーにおいて新発売した。同商品には、次世代型アミノ酸オルニチン(睡眠時に分泌される成長ホルモンの分泌を促進)や体脂肪燃焼に係わる体内成分を配合している。また、健康的に便秘改善ができる成分も配合している。(資生堂ビューティーフーズ プレスリリース



ース http://www.beautyfoods.shiseido.co.jp/release/2005/050221_02.htm 2月21日)

日本ハム、デザート感覚の豆乳加工品「美・白・豆・富」を発売

日本ハムは、自家製豆乳を使用し、デザート感覚で楽しめる『美・白・豆・富(びはくとうふ)』を3月1日より発売した。イソフラボンに加え、同社中央研究所開発の保湿効果があるコラーゲンも配合(200mg/1個あたり)し、美容や健康に気をつかう女性をターゲットとする。(日本ハムプレスリリース http://www.nipponham.co.jp/release/20050301_2.html 3月1日)



大塚製薬 1日分の緑黄色野菜と生きた乳酸菌をミックスした「野菜の戦士」を発売



大塚製薬株式会社は、「野菜の戦士」シリーズとして、「野菜の戦士」緑野菜ミックスを3月14日より発売した。9種類の野菜に生きた植物性乳酸菌を加え、野菜だけを乳酸発酵させた同商品は、1本(100g)で1日に必要な120g相当分の緑黄色野菜が摂取できる。また、500億個以上の植物性乳酸菌が生きて腸まで届き、ビフィズス菌を増やします。(大塚製薬プレスリリース <http://www.otsuka.co.jp/company/news/050215.htm> 2月15日)

江崎グリコ 「メンタルバランスチョコレート GABA」の発売を発表

江崎グリコでは、リラックスに役立つといわれるアミノ酸の一種「GABA」を多く含んだチョコレート『メンタルバランスチョコレートGABA』4品を5月10日、関東地方で新発売する。同商品には、一般的なチョコレートの25倍以上のGABAを含有する。(江崎グリコプレスリリース <http://www.ezaki-glico.com/release/20050315/index.html> 3月15日)



日本ネイチャーズサンシャイン 10種類の果実とハーブ配合の新商品「ザンブローザ」が好調

日本ネイチャーズサンシャインプロダクツは、「フルーツの女王」と呼ばれるマンゴスチンをはじめとした10種類の抗酸化力の高い果実及びハーブを配合した健康飲料「ザンブローザ」を2月16日に発売した。発売2週間で約3000本を出荷し、ここ数年に発売した新商品の中では記録的販売量である。MLMで販売、初年度の売上目標は7~8億円。(日本流通産業新聞 3月10日号)

ニュースキンジャパン 独自開発の乳酸菌サプリメント「アレルリリーフ」を発売

ニュースキンジャパンは、L-パラカゼイとL-ファーマンタムの2種類の乳酸菌を含有する独自成分「LG-2」を配合したアレルギー対応サプリメント「アレルリリーフ」を発売した。厚生労働省指定のアレルギー成分を一切使わない安心して摂取できる商品としてPRしている。(健康食品新聞 3月23日号)



栄進商事 ミリセチン含有美白サプリメント「WHITE ME」を発売

栄進商事は、今春の新商品として美容健康食品「WHITE ME」を発表した。同品は、ミリセチン、エラグ酸、フィッシュコラーゲンを含有。ポリフェノールの1種であるミリセチンの抗酸化作用によりメラニンを抑制、美白効果が期待できるという。月2万個の販売を目指し、通信販売で展開する。(健康産業速報 3月23日)

東洋新薬 脂肪燃焼・分解効果のある辛い青トウガラシ発酵エキスを開発

東洋新薬は、辛味成分のカプサイシンを含まない青トウガラシを発酵させた「青トウガラシ発酵エキス」を開発、OEM供給及び受託製造を開始した。脂肪燃焼と脂肪分解が期待できる。(食品化学新聞 3月23日)

カネボウ化粧品 抗酸化力の強いオリーブの実の成分を配合したサブリと美容液を発売

カネボウ化粧品は、抗酸化力の強い「オリーブ果実水」を配合したサプリメントと美容液を4月16日から新ブランド「Bella Vita(ベラヴィータ)」として発売する。体の内側と外側からの“内外美容”がキャッチフレーズだ。オリーブ果実水は、オリーブの実を絞って、オリーブオイルを作るときに最後に残った水分を濃縮したもの。同社にとっては、「ラズベリーケトン」に次ぐ独自開発の新素材。インデナ社と共同で研究した。(日経サブリ&機能性食品 3月25日)



ファンケル 独自開発のコラーゲンサプリ「HTC コラーゲン」を発売

ファンケルは、5年の歳月をかけて開発した独自成分であるHTCコラーゲンのサプリメントを4月21日より販売する。HTCコラーゲンは、特殊な技術で豚皮のコラーゲンを酵素分解することで得られる。HTCコラーゲンは、グリシン - プロリン - ヒドロキシプロリンという3つのアミノ酸からなるトリペプチドを多く含んでいて、摂取すると、通常のコラーゲンペプチドに比べ吸収が速く、効率良くコラーゲンを補給できる。(ファンケルプレスリリース <http://www.fancl.co.jp/corporate/news/data/2005.04.21htc.pdf> 3月29日)



TECHNOLOGY UPDATES

アサヒビールと千葉大 「ホップ・ポリフェノール」が、ピロリ菌による疾病発症リスク低減を確認

アサヒビールと千葉大学大学院医学研究院・野田公俊教授(病原分子制御学)のグループは、ビール原料のホップから抽出される天然素材「ホップ・ポリフェノール」が、ヘリコバクター・ピロリ菌の産生する空胞化毒素を強力に中和、無毒化することを確認した。この研究成果は、4月4日(月)～6日(水)に東京都内で開催される「第78回日本細菌学会総会」において、発表される。(アサヒビールプレスリリース http://www.asahibeer.co.jp/news/2005/0317_1.html 3月17日)

1日5杯の緑茶で血管弾力性が改善

1日あたり5杯(800ml)以上の緑茶を摂取することで、血圧に関係するとされる脈波伝播速度(PWV:Pulse Wave Velocity)が有意に下がり、血管の弾力を示すFMD(Flow Mediated Dilation:血流の増加に依存した血管拡張)が有意に向上するという。福井循環器病院循環器内科の村上達明氏が、日本循環器学会のポスターセッションで報告した。村上氏は「緑茶に含まれるポリフェノール」には血管に弾力を与える効果があるのではと推測している。(日経 FOOD・SCIENCE 3月20日)

太陽化学 緑茶成分「テアニン」のストレス軽減、更年期障害の症状緩和を確認

太陽化学は、アメリカ人女性を対象とした試験で、緑茶に含まれているアミノ酸「テアニン」がストレスを軽減し、更年期障害の症状を緩和することを確認した。この研究成果は、3月30日、日本農芸化学会で発表される。(太陽化学プレスリリース http://www.taiyokagaku.com/jp/outline/outline_news_19_.html 3月23日)

サントリー セサミンの生体内代謝物に血管弛緩作用があることを確認

サントリーは、セサミンの生体内代謝物に、抗酸化活性には依存しない血管弛緩作用が確認した。これもセサミンの高血圧抑制作用のメカニズムの一つと考えられ、この弛緩反応には血管内皮細胞から放出される一酸化窒素(NO)が関与していることが示された。この研究成果は、日本薬理学会(3月22～24日)で発表した。(サントリープレスリリース <http://www.suntory.co.jp/news/2005/9067.html> 3月23日)

日向夏みかんに骨粗鬆症改善効果

宮崎大学は、日向夏みかんに骨粗鬆症改善効果があることを発見した。宮崎大学の技術移転機関であるみやざき TLO が移転先を探している。(健康食品新聞 3月23日号)

鶏卵から育毛物質、京大が開発

京都大学の吉川正明教授らは、鶏卵のたんぱく質を原料に、育毛を促す働きのある物質を開発した。新物質は鶏卵の卵白に含まれるペプチドを原料に、構造の一部を変えて作る。体の毛を剃ったネズミに体重1キログラム当たり1ミリグラムを食べさせたところ、通常は2—3日かかる体毛の伸びが1日に短縮されることが分かった。抗がん剤の副作用で抜け毛が増えたネズミに与えると、脱毛を防げたという。今後、企業と組んで人での安全性を確かめて実用化を目指す。この研究成果は、日本農芸化学会で発表される。(日経新聞 3月26日)

サントリー、植物性乳酸菌による胡麻・大豆・昆布発酵物の免疫機能改善作用を発表

サントリーは、植物性乳酸菌S-PT84で胡麻・大豆・昆布を発酵させた胡豆昆(ごずこん)発酵物を摂取することにより、免疫力の強さの指標であるNK活性が高まることを確認した。また、胡豆昆(ごずこん)発酵物を摂取することで、Th1/Th2バランスが改善されることも、動物でのストレス負荷モデル、およびヒトでの継続摂取試験で別途確認している。この研究成果は、日本農芸化学会で発表される。(サントリープレスリリース <http://www.suntory.co.jp/news/2005/9073.html> 3月29日)

ニチレイ アセロラ由来ポリフェノールのメラニン生成抑制作用を確認

ニチレイは、アセロラ果実由来のポリフェノールにメラニン生成を抑制する作用があることを、日本農芸化学会で発表した。(日経 FOOD・SCIENCE 3月30日)

COMPANY NEWS

キューサイ 青汁売上 113 億円超

青汁大手のキューサイの2005年2月期の青汁の売上、前期比24.2%増の113億5,100万円になる見通しだ。粉末青汁の通販展開が好調で、2期連続の二桁成長となる。(日本流通産業新聞 3月17日)

サントリー 健食売上前年比 48%増の 187 億円に

サントリーの2004年12月期の健食事業売上は、前年比48%増の187億円となった。主力製品の「セサミン」シリーズの通販売上が前年比55%増と好調だったほか、「マカ」などの中高年層向けの商品がヒットした。売上の内、自社通販が171億円、卸・その他は16億円だった。(日本流通産業新聞 3月3日号)

REGULATORY NEWS

国立栄研、 α -リポ酸のダイエット効果は「不明」と判断

国立健康・栄養研究所は、「 α -リポ酸が体脂肪を減らす」とTV番組で報道されたことをきっかけに、 α -リポ酸配合のダイエット健食の流通が急増していることを受けて、現時点で判明している情報を収集した。その結果、抗酸化作用についての研究論文が多数存在することや、糖尿病に対する有効性報告があることがわかった。適正使用による安全性も確認された。ただ、ダイエット効果についての論文検索では、「ほとんどが動物試験あるいは試験管内実験のレベル」で、ヒトで体脂肪減少効果を評価した信頼できる論文は見あたらなかったという。このことから、「現時点ではヒトにおいて α -リポ酸に痩身効果があるかどうかは不明であり、今後の科学的な検証が必要」と結論づけている。(健康産業速報 3月29日)